令和7年度 市長施政方針・予算

令和7年第1回市議会定例会（会期2月21日～3月18日）で、小谷野市長が7年度の施政方針として、市政運営の基本的な考えや重点施策などを述べました。
今月は、その概要をお知らせします。

第1回市議会定例会で施政方針を述べる小谷野市長

【施政方針の要約】

昨年、本市は市制施行70周年という節目を迎えました。令和7年も激動の時代と言われる昭和から100年、先の大戦終結から80年が経過するなど、大事な節目を迎えます。今日、私たちの置かれている環境は不透明で変動性が高く、先を見通すことは困難でありますが、私たちの視点を未来に置き、多くの市民の皆さまと力を合わせて課題解決に取り組んでまいります。7年度の予算案は、このような時代認識のもと、市民の皆さまの期待に応えることを念頭に編成いたしました。

「物価高騰対策」では、国の交付金を活用し、2カ月分の水道料金の基本料金の免除や、省エネ効果の高いエアコンへの買い替えを促進する補助事業、公立小・中学校の給食に係る食材費などの高騰分の支援を実施してまいります。

「若い世代を増やす」では、仕事と子育ての両立支援において、広瀬保育所に相談室を増設する他、民間保育所の保育人材確保に向け、新たに「保育士奨学金返済支援制度」を創設してまいります。

学童保育室は、本年4月に入間川地区に民間学童保育室が開設される他、夏季休業期間の保育体制を拡充するなど、引き続き待機児童の解消に向けて取り組んでまいります。

学校施設では、中央中学校の校舎空調設備更新工事や柏原小学校の校舎屋上改修工事を実施するなど、計画的に施設のリニューアルを進めてまいります。

「まちと産業に活力を」では、入曽駅周辺整備事業において、本年3月のまちびらき後も、引き続き良好な駅周辺環境の整備を目指して、既存駅舎の解体や換地処分を推進してまいります。

都市計画道路の整備では、8年度末の狭山市駅加佐志線の供用開始に向けて、道路工事などを実施するとともに、次期優先整備区間である入間川入曽線についても事業を推進してまいります。

一般市道や橋梁は、日常的な道路施設などの維持管理業務を民間事業者へ包括的に委託し、市民サービスの向上と業務の効率化に努めてまいります。

「楽しめる健康高齢社会を」では、保健予防の充実において、帯状疱疹ワクチンが本年4月から定期接種化されることから、周知啓発に努めてまいります。

ふれあい健康センターサピオ稲荷山は、より多くの方に利用される施設となるように、民間資金を活用したリニューアルに向けた取り組みを進めてまいります。

介護予防・重症化防止の推進では「いきいき百歳体操」について、さらなる自主グループの立ち上げなど、活動の継続について支援してまいります。

「市政運営をみんなの力で」では、危機管理防災対策において、トイレカーを配備する他、昨年好評をいただいたフェスタ方式の総合防災訓練を実施し、幅広い世代の防災意識の高揚を図ってまいります。

環境保全と脱炭素社会の実現に向けた取り組みでは、給食センターや保育所の廃食油から精製されたバイオディーゼル燃料を公用車などで使用し、カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの推進を図ってまいります。

「さやま市民大学」は、本年10月より市の直営事業として再開することとしており、幅広い市民の皆さまに受講いただけるよう取り組んでまいります。

女性活躍の推進では、引き続き女性が働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む事業者への環境設備費用の一部を助成する他、市職員向けにフェムテックを活用した研修を実施し、女性特有の健康課題への理解増進を図ってまいります。

市民の安全と安心に関する施策では、引き続き特殊詐欺対策電話機などの普及促進を図ってまいります。また、6年度に設置した防犯カメラについては、今後も警察と協力し、一層の防犯対策・交通安全対策に努めてまいります。

市制施行70周年に際し、私たちが選んだ言葉は「ともに未来へ」でした。多くの市民の皆さまの絶え間ない努力の積み重ねによって、今日の狭山があり、私は本市が持続可能でより豊かなまちへ変わり続けることができるよう、市民の皆さまと「ともに未来へ」進んでいく決意であります。「変えられる未来を作ることができるのは、今しかない。」この言葉を信じ、本年も全力で市政運営に取り組んでまいります。

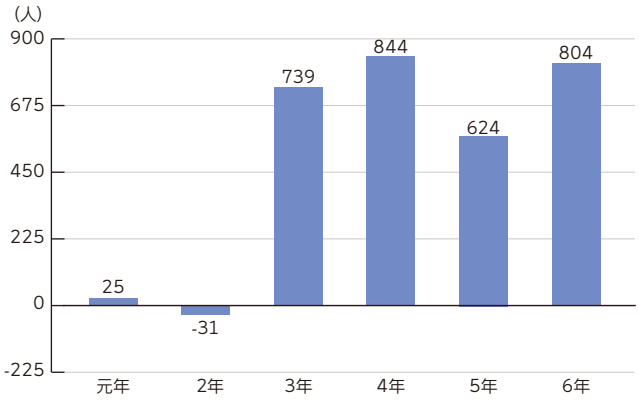
次のページでは、4つのテーマに沿って、今年度に取り組む重点事業をお知らせします。

令和7年度に取り組む主な事業

テーマ① 若い世代を増やす

若い世代の移住・定住を促進するとともに、子育て環境と教育環境の充実を図り、人口減少を克服する持続可能なまちづくりを進めます。

狭山市の人口（社会増減の推移）



4年連続で大幅な社会増。転入者の約7割が30代以下の若い世代です

若い世代の移住・定住の促進　4,540万円

市内で親世帯と同居、近居する世帯に対し、住宅の取得や増改築に係る費用の一部を補助します。また、市内に住居を新築するか新築住宅を購入する若い世代に対し、費用の一部を補助します。

仕事と子育ての両立支援　2,833万2千円

8年度から広瀬保育所を基幹型保育所として運用するため、地域の子育て相談に使用する相談室の設置工事を行います。また、保育人材の確保と保育士が働きやすい環境整備に向け、市内の民間保育所などで新たに勤務する常勤保育士に対し、奨学金の返済支援のために月額15,000円の補助金を最長5年間交付します。

学童保育室は、引き続き民間学童保育室の誘致を進めます。また、特に利用希望の多い夏季休業期間（夏休み）の保育体制を充実し、受け入れ人数の拡大を図ります。

教育指導と教育環境の充実　3億1,393万9千円

民間スイミングスクールを活用した水泳指導「さやまっ子スイスイプロジェクト」の対象校を拡大し、小学校9校で実施します。

2年度に導入した、GIGAスクール構想に基づく児童・生徒の1人1台のタブレット端末を更新します。

不登校児童・生徒の心のケアと学習をサポートするため、教育支援センターや各中学校区の校舎内に設置したスペシャルサポートルームのスタッフを増員します。また、学校生活への適応が著しく困難な児童・生徒の学校生活を支援するため、特別支援学級の介助員を増員します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第4次狭山市総合計画に掲げる4つの重点テーマに沿って、令和7年度に行う主な事業を紹介します。

テーマ2 まちと産業に活力を

都市基盤の整備と産業の活性化を図り、人と企業に選ばれるまちづくりを進めます。

安全で利便性の高い道路の整備　4億7,256万3千円

都市計画道路について、7年3月に一部供用開始した、狭山市駅東口と東京狭山線を結ぶ「狭山市駅加佐志線」の8年度末の全線供用開始を目指し道路整備を進めます。また、次期整備優先道路である「入間川入曽線」の交通量調査や道路詳細設計などを実施します。

現場作業に従事する市職員の高齢化と人員不足を踏まえ、主に市が直営で実施していた道路修繕などの業務を民間事業者へ包括委託し、業務の効率化と市民サービスの向上を図ります。

新たな産業地の創出　1,500万6千円

圏央道インターチェンジ周辺地区において、産業地への転換を目指すために、周辺の自然環境や生態系などの環境に及ぼす影響を調査する計画を作成します。また、併せて権利者の事業に対する合意形成を図ります。

立地適正化計画の策定　870万3千円

少子高齢化などに対応するため、人口規模に合わせたコンパクトなまちづくりを推進していくための施策をまとめた「狭山市立地適正化計画」を策定します。

中小企業などへの伴走型支援　8,017万7千円

狭山市ビジネスサポートセンター業務に加え、狭山市産業労働センターで、事業者が異業種、異分野の企業などと交流し、オープンイノベーションが図れるよう取り組みを進めます。また、利用者同士の交流拠点として、コワーキングスペースを整備します。

狭山茶のブランド力向上　625万8千円

EXPO2025大阪・関西万博のResolution of LOCAL JAPAN展に、狭山市・所沢市・入間市・三重県鈴鹿市・奈良県生駒市と共同で日本茶の企画ブースを出展し、日本茶の魅力と狭山茶の産地としての本市の魅力をPRします。

安全で安心な上下水道　11億1,180万8千円

笹井配水場の耐震改修をはじめ、施設の計画的な更新や耐震化を進め、災害に強く安全・安心な水道水の安定供給に努めます。また、6年度に実施した人工衛星を活用した漏水調査の結果に基づき、現地調査を行い、漏水の早期発見に努めます。

下水道は、災害時のリスクを軽減するため、管渠（かんきょ）の計画的な調査、更新や耐震化を推進し、安全・安心な事業運営を行います。

テーマ③ 楽しめる健康高齢社会を

安心、健康、便利なまちづくりを進めます。

福祉の総合的な推進 198万円

高齢者や障害者、児童などを対象とする健康福祉部門の上位計画である「地域福祉計画」を策定します。計画には、成年後見制度利用促進計画や生活困窮者自立支援方策、再犯防止推進計画を含めます。

公共交通の充実 2,010万3千円

デマンドバスの運行に係る経費を補助し、地域公共交通の充実を図ります。また、既存の公共交通の再編などを視野に入れ、市内の公共交通の適正な運行をするための地域公共交通計画の推進に取り組みます。

健康づくりの推進 440万円

狭山市ふれあい健康センターサピオ稲荷山について、多世代の方々が利用し、健康の増進と相互交流がさらに図られる施設となるよう、民間資金を活用したリニューアルに向けた取り組みを推進します。

図書館サービスの安定的な提供 2,772万円

小学校や福祉施設などの駐車場所を2週間間隔で巡回し、図書館資料の貸出・返却などのサービスを行っている移動図書館「さみどり号」を新たな車両に更新します。

介護サービスの充実 2,674万6千円

介護認定審査件数の増加に対応するため、新たなシステムを導入し、審査事務の効率化を図ります。

テーマ④ 市政運営をみんなの力で

市民、団体、事業者、行政が協働し、新時代にふさわしい元気なまちづくりを進めます。

平和意識の高揚 49万8千円

戦後80年戦没者追悼式典と平和祈念講演会を行い、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ継承します。

健全な財政運営の推進 5,212万円

物価高騰による、施設の運営経費や証明書発行業務に係る経費への影響を踏まえ、受益と負担の公平性を確保するため、公の施設の使用料と証明書発行などの事務手数料の適正化を図ります。

歳入増加に向けて、ふるさと納税の新たな返礼品を開拓するとともに、積極的なプロモーションを展開します。また、企業版ふるさと納税にも積極的に取り組みます。

危機管理防災対策の充実 2,347万1千円

幅広い世代が楽しみながら防災について学ぶことができる、フェスタ方式の総合防災訓練を昨年に引き続き開催します。

災害時のトイレ課題に対処するため、バリアフリーに対応した水洗浄便座を備えた自走式トイレカーを県内で初めて導入します。

計画行政の推進 900万円

市の最上位計画として、今後10年間のまちづくりの指針となる「第5次狭山市総合計画」を策定します。

物価高騰対策

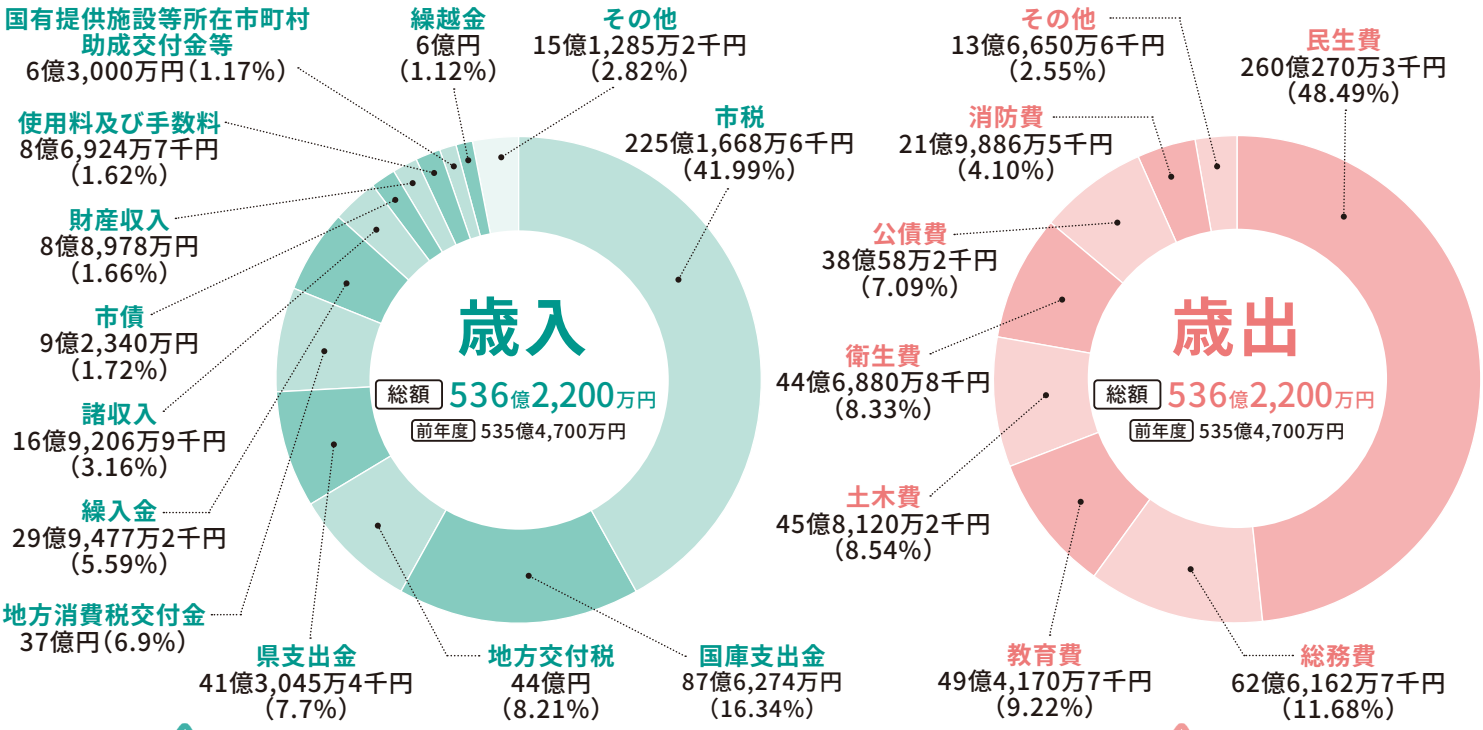
国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、物価高騰の影響を受ける全ての市民や事業者を支援します。

すべての市民や事業者に対し、2カ月分の水道料金の基本料金を免除	9,510万円
省エネ効果の高いエアコンへの買い替えを促進する補助事業を実施	2,000万円
公立小・中学校の給食について、物価高騰に伴う食材料費分を補助	1億2,443万6千円

7年度 一般会計当初予算の概要

総額536億2,200万円

一般会計の予算総額は4年連続過去最大



歳入の4割以上を占める市税は、賃金の上昇に伴う個人市民税の増額や、家屋の新増改築分や償却資産分の増収による固定資産税の増額により、また国庫支出金は社会福祉関係経費の財源が増額となっています。

歳出の4割以上を占める民生費は、社会福祉関係経費が増額しており、総務費は一般職の人件費など、衛生費は新型コロナウイルスワクチンの定期接種化などに伴う予防接種委託料の増などによりそれぞれ増額となりました。一方で、土木費は入曽駅周辺整備事業費など、教育費は博物館の屋上防水等改修工事費や中学校3校の校舎外壁と内装等工事費の減などによりそれぞれ減額となっています。

市民1人当たりに使われるお金…年間で約36万円

※7年1月現在の人口148,221人を基準に算出

民生費
175,432円
こどもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費

総務費
42,245円
市有財産の管理や一般事務などに要する経費

教育費
33,340円
学校教育や生涯学習に要する経費

土木費
30,908円
道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費

衛生費
30,150円
保健衛生やごみ処理などに要する経費

公債費
25,641円
道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の返済に要する経費

消防費
14,835円
消防や災害対策に要する経費

その他
9,220円
市議会運営や農業振興などに要する経費

狭山市の予算と財政状況を公表します

7年度の一般会計、特別会計の当初予算と6年度下半期の予算執行状況、財産や基金の状況を公表します。

日程　5月1日㈭～7月31日㈭
場所　市役所1階情報公開コーナー、入曽地域交流センター、地区センター、図書館
※休館・休所日は除く。市公式ホームページでもご覧いただけます

問合せ　財政課へ☎2935-6633